

1 法人の概要

1) 沿革

昭和15年12月28日	財団法人村上学園設置認可
16年4月1日	布施高等女学校開校
22年4月1日	布施高等女学校附属中学校開校
23年4月1日	新制高校の発足により布施学院高等学校と改称
24年2月15日	布施女子高等学校、同中学校と改称
26年3月13日	財団法人村上学園は学校法人村上学園となる
28年4月22日	学校法人村上学園布施女子高等学校附属幼稚園開園
38年4月1日	学校法人村上学園柏原女子高等学校開校
39年1月25日	学校法人村上学園柏原高等学校と校名変更、男子部を併設
40年1月25日	布施女子短期大学（42年4月、東大阪短期大学と校名変更）家政科設置認可を得、開学
41年1月25日	布施女子短期大学保育科を増設
43年4月1日	家政科を家政学専攻と食物栄養学専攻に分離認可
44年4月1日	保育科を幼児教育学科に改称（47年3月廃止）
45年2月9日	児童教育学科設置認可を得、同年4月1日開設
45年4月1日	家政学専攻を服飾デザイン専攻に改称 柏原高等学校、女子部を廃止
48年4月1日	児童教育学科を初等教育学と幼児教育学に専攻分離
63年3月31日	東大阪中学校廃校認可を得、廃校
平成11年7月28日	児童教育学科の初等教育学専攻の募集停止届出
12年3月1日	家政学科に生活福祉専攻設置認可を得、同年4月1日開設
13年3月31日	児童教育学科の初等教育学専攻廃止届出
13年5月15日	校名変更認可、平成14年4月から東大阪高等学校を敬愛女子高等学校と改称
14年4月1日	児童教育学科を幼児教育学科に、服飾デザイン専攻を生活デザイン専攻に名称変更
14年12月19日	東大阪大学設置認可、平成15年4月1日開学 校名変更認可、平成15年4月から東大阪短期大学を東大阪大学短期大学部と改称
15年1月24日	校名変更認可、平成15年4月から東大阪短期大学附属幼稚園を東大阪大学附属幼稚園と改称
15年4月1日	東大阪大学こども学部こども学科開学
18年4月1日	敬愛女子高等学校を東大阪大学敬愛高等学校に名称変更 柏原高等学校を東大阪大学柏原高等学校に名称変更

- 東大阪大学短期大学部家政学科を健康福祉学科に、食物栄養学専攻を健康栄養専攻に名称変更
家政学科生活デザイン専攻を平成18年度より募集停止
- 19年 3月31日 家政学科生活デザイン専攻廃止届出
- 22年 3月31日 東大阪大学敬愛高等学校商業科廃止
- 22年 4月 1日 健康福祉学科を健康栄養学科に名称変更
健康栄養学科生活福祉専攻を平成22年度より募集停止
- 23年 3月31日 健康栄養学科生活福祉専攻廃止
- 23年 4月 1日 東大阪大学こども学部アジアこども学科開設
- 28年 4月 1日 東大阪大学短期大学部健康栄養学科を実践食物学科に、幼児教育学科を実践保育学科に名称変更
- 30年 4月 1日 東大阪大学短期大学部介護福祉学科開設
- 令和 3年 4月 1日 東大阪大学こども学部アジアこども学科を国際教養こども学科に名称変更

2) 設置する学校・学部・学科 (令和2年度)

- (1) 東大阪大学 こども学部 こども学科
アジアこども学科
- (2) 東大阪大学短期大学部 実践食物学科
実践保育学科
介護福祉学科
- (3) 東大阪大学敬愛高等学校 普通科 (全日制課程)
- (4) 東大阪大学柏原高等学校 普通科 (全日制課程)
- (5) 東大阪大学附属幼稚園

3) 当該学校・学部・学科の学生数 (令和2年5月1日現在)

学校名	学部・学科名	学生・生徒数
東大阪大学	こども学部	292
東大阪大学短期大学部	実践食物学科	77
	実践保育学科	90
	介護福祉学科	122
東大阪大学敬愛高等学校	普通科	711
東大阪大学柏原高等学校	普通科	607
東大阪大学附属幼稚園		276
合計		2,175

4) 役員概要 (令和3年4月1日現在)

(1) 役員 理事 7人、監事 2人 (任期: 令和7年7月3日【7-1-1 除く】)

寄附行為	役職名	氏名
7-1-2	理事長	村上 靖平
7-1-2	理事	栗岡二三子
7-1-3	理事	佐伯 勇
7-1-3	理事	林 健至
7-1-3	理事	筒井 宣興
7-1-1	理事	吉岡真知子
7-1-2	理事	金治 延幸
8	監事	中道 均
8	監事	室井 博子

(2) 評議員 15人 (任期: 令和7年7月3日)

寄附行為	氏名	寄附行為	氏名
21-1-2	栗岡二三子	21-1-1	仲辻 享治
21-1-1	村上 靖平	21-1-3	金治 延幸
21-1-3	妻野 京子	21-1-1	寺川 誠
21-1-1	筒井 宣興	21-1-3	大家 浩二
21-1-3	吉岡真知子	21-1-3	三浦 常治
21-1-1	林 健至	21-1-1	山田ゆかり
21-1-3	別所諭貴夫	21-1-1	森内 徹
21-1-3	西田 眞男		

5) 教職員の概要 (令和2年5月1日現在)

	教員		職員		合計
	専任	非常勤	専任	非常勤	
法人部門	0	0	10	10	20
東大阪大学	25	23	14	8	70
東大阪大学短期大学部	33	36	16	5	90
東大阪大学敬愛高等学校	45	10	7	3	65
東大阪大学柏原高等学校	49	11	11	9	80
東大阪大学附属幼稚園	17	0	5	4	26
合計	169	80	63	39	351

2 令和2年度事業計画における進捗状況等

1. 評価育成制度の試行実施

各教員に教科指導・生徒指導・学級経営・課外活動の4つの分野に関して目標を持たせた。また、数値化できる項目、内容については数値化した目標を持たせた。

個別面談では、目標・目標値の確認と、目標達成の方法をより具体的に聞いた。最終の報告で数値目標に対する達成度、自己評価を提出させ、優秀な3名を選出した。

2. 教科指導の充実

イ) 研究授業の実施

来年度から1学年の生徒全員がタブレットを使用することに対して、各教科、教員が有効利用するために11月中旬以降 研究授業を実施 授業のない教員はほぼ全員授業見学を行い、タブレットの使用法、授業の研究、向上に向けてよい研修となった。

ロ) Step Up Note

日々の記入・チェック

・担任の先生方の点検は、月曜日の時間減によりチェックしていただけたが、月曜日が祝日、振休の場合は大変になった。

・小テスト同様、担任の先生方の声掛け・回収により習慣化できている。

ハ) 小テストの実施

・ほぼ計画通りに実施できた。

・1年生で実施した「小テスト不合格者に対する授業」では成果を上げており、不合格者が減り、全体的な学習に対する姿勢が向上した。

3. 生徒指導について

イ) 問題行動の指導について

①指導案件数は、昨年度から13件の減少であった。規範意識(校内)は、年々向上していると言えるが、校外での規範意識の向上がより学校生活に結び付くと考えられる。個人案件については、新校舎になって防犯カメラが設置されたことにより、校内の喫煙が0件と無くなった。しかし、自転車置き場の防犯カメラの設置(年度末:設置済み)、校門の防犯カメラの画素数向上が、案件減少に繋がると考える。

②今年度より、昼食時のスマートフォン・携帯使用を許可した。大きな問題もなく、生徒の規範意識、先生方の事前指導が、周知され指導して頂いた成果である。しかし、SNS授業中や無断投稿など、これから増加傾向するであろうと思われる。早急な対応が必要である。学校行事、体育祭などコロナ禍での行事は、スマートフォン規定を決め、使用を許可した。大きなトラブルもなく、許容範囲内であった。

ロ) 生徒相談係

相談件数:2 ケース 面談:4 件

・相談内容は、不登校、心因性の体調不良などの悩みが中心であった。

- ・対応については、管理職、学年主任、学級担任、保健室と連携し、相談しながら進めた。
- ・保護者とも面談し、情報共有、専門機関への受診の依頼、学校での対応等について相談に応じた。
- ・相談係でのケースは例年よりも少なく、長期継続的に面談が必要なケースもありませんでしたが、保健室での相談件数や継続的な対応が必要なケースは例年と同様に多くみられたため、生徒の傾向としては特に変化はなかった。

4. 生徒会活動について

※本年度は新型コロナウイルス感染症の予防の観点から、多くの行事が中止・簡略化され残念な面が多くあった。半面、平常では行わない新しい試みを実施するなど得られる点も多くあった。

イ) 体育祭

※新型コロナウイルス感染症予防の観点から、グラウンドでの体育祭は保護者席の確保や生徒掌握が難しいと判断し、初めてラクタブドームでの実施となった。

① 初めてのラクタブドームでの実施は生徒・保護者ともに全体的に意見としてはとても良かった。種目の練習を体育科と連携し、レベルを上げての競争ができるように協力依頼していききたい。また実施に向けて体育科との意見交換をより密に行っていき、より良いものにしていききたい。

② 今年度は多くの生徒が縦割り・応援団を希望していたため、まずは団体演舞を実施することで、今後の縦割りのチーム作りに繋がればよいと考える。改善点をふまえて学年を超えた演舞や競技を今後検討していききたい。

③ 全体の進行や応援生徒の集合や召集においては良かったと思われる。新型コロナウイルス感染症対策については生徒・教員・保護者の協力のもと改善点はあるが徹底できた。

④ 初のドームでの実施であったが、たくさんの保護者に参加して頂き、雨天でも変更なく実施できる点ではとても良かった。例年に比べて体調不良・ケガをする生徒がとても少なかった。

ロ) 敬愛祭

※新型コロナウイルス感染症予防の観点から、校内では模擬店等食品販売を中止し、校内では展示と一部の舞台発表を、初めての試みとして東大阪文化創造館にて舞台発表を録画撮りし、後に「敬愛祭 LIVE 鑑賞会」を実施した。敬愛祭 LIVE 鑑賞会では、鑑賞態度は素晴らしく、友達の演技に賞賛していた。音楽に合わせて踊る生徒や拍手も自然とおこり、生徒の評価はとても高かった。生徒会役員としては大きな舞台での司会進行に緊張しながらも成長に繋がった。

ハ) クラブ活動

① 新型コロナウイルス感染症対策の各クラブのガイドラインを徹底して頂き、クラブを中止することなく1年を通して活動できた。

② 新型コロナウイルス感染症に伴い、中止になる大会も多数あったが、その中でも体育部・文化部共に活躍し、活性化してきた。

③ 令和3年度からのグラウンド使用についても、今後のクラブ活動の活性化に繋げていきたい。

二) その他

※新たに、生徒会としてお昼の放送を実施したり、新型コロナウイルス感染症に伴う医療従事者に対する、支援活動・愛の募金等を実施し成果をあげた。

※残念ながら、例年実施している生徒会行事やスポーツ大会、敬愛祭の一部などが不実施となった。

5. 進路指導について

3年生在籍 284名

コース		在籍	四年制 大学	短期大学	専門学校	就職	留学	その他 <small>(浪人・未定含む)</small>
普通 科	総合進学	187	100	15	47	12	3	10
	こども教育	42	20	16	6	0	0	0
	調理・製菓	55	16	11	19	8	0	1
合計		284	136	42	72	20	3	11
%			47.9%	14.8%	25.4%	7.0%	1.1%	3.9%
			進学合計 250名 (88.0%)					

1. 進路全体の総括

令和2年度の進路状況は、昨年度と比べ、四年制大学、短期大学への進学率が増加し、専門学校への進学率が若干減少した。就職生徒は総数に対しては減少傾向。未決定者数は前年度より減少した。昨年度との差異としては、四年制大学への進学者が昨年度より高かった。それに伴い進学合計は 6.1%増加。

短大・専門学校進学者はほぼ横ばい。また、内部進学者数は、42名で、5名の増加となった。進学者の多くが内部推薦、指定校推薦、AO入試等を利用して受験した。就職者数については、昨年度より6名減の20名であった。コロナ渦において生徒の動きが大きく制限され、進路の意思決定が難しい状況となったが、未決定者は昨年度よりも減少した。

2. 就職指導の総括

今年度の就職に関する状況は、昨年度に比べ悪化した。特に飲食業界（主にホテル関係）・事務関係は求人が大幅に減少し、出されている求人に申込者が殺到し合格率が減少した。また、今年度は縁故による就職も多くみられ就職方法の多様化に学校としてもサポートできる体制を整えていきたい。また今年度指定求人が減少した。理由としては、本校卒業生の離職における部分が多い。就職先の決定だけでなく、入社後も就職先に迷惑をかけることがないように事前指導をより綿密に行っていく必要があると感じた。

6.入試広報部

募集

中学校訪問

・教員8名が約30～80校を年2～6回訪問した。新型コロナウイルスの影響で訪問開始時期が例年より大幅に遅れたことや、アポを取って訪問したということもあり、例年と同じ回数を訪問できない中学校もあった。

・募集活動を充実させるためには、さらに募集係の増員が必要である。

・おおさか東線の開通により、近隣だけでなく様々な地域から受験をする生徒が増えてきたように思う。(特に調理・製菓コース)募集係の数にもよるが、おおさか東線沿線の中学校への訪問も検討していくべきだと考える。

・繋がりを作るという点から、担当校と担当者はできる限り変更しないよう、来年度も継続するのがよいと思われる。

・昨年度は東大阪市6校から進路説明会に呼んでいただいたが(内2校は出前授業)、今年度は新型コロナウイルスの影響で進路説明会を開催される中学校が少なく、東大阪市内2校のみ参加した。

塾訪問・塾長対象入試説明会

・今年度は全教員で担当し、1人3塾ほど回っていただいた。担当塾は、在校生の出身塾、地元を中心に回った。年々塾の数が増えてきていることもあり、募集係では担当しきれなかったため、来年度も全教員で回る方向で検討していきたい。

・新型コロナウイルスの影響で急遽、塾長対象入試説明会をホテルから学校に変更した。塾の先生方への周知が遅れ、参加人数が少なかったことが課題であるが、内容的には生徒と教師によるコース説明や制服ファッションショーなど、塾の先生方に本校のことをよりよく知っていただけたのではないかと思う。

広報

学校案内・チラシ・ポスター

・「Beside you キミに寄り添う敬愛」という新たなキャッチフレーズを採用し、学校案内やポスターで前面にPRした。来年度も継続して採用し、本校の「面倒見の良さ」を伝えていきたいと思う。

・今年度は撮影ができなかったため、卒業生や昨年度の写真を使用した。来年度は在校生の中からモデル生を選び学校案内やポスター・チラシに反映させたい。

・ここ数年、ポスター、パンフレットなどの納期が各学校、だんだん早まっている傾向にあり、4月の訪問でポスターを持参する高校も出てきている。今年度は5月のGW明けには完成する予定に進めたが、撮影ができなかったこと、写真の収集に時間がかかったことなどがあり納期が大幅にずれってしまった。来年度は新コース、新制服の決定に伴い8月2日納品で動いている。私学展に間に合うように制作をすすめたい。

オープンスクール・入試説明会

- ・ 今年度は新型コロナウイルスの影響で、すべて予約制で実施した。
- ・ 内容としては、生徒主体のプログラムになるよう工夫した。非常に協力的な生徒が多く、大変ありがたかった。アンケートでも生徒を褒めていただくことが多く、来年度もこちらである程度人選する必要があると考える。
- ・ 公立高校もオープンスクールに力を入れている傾向になり、中学生にとってはオープンスクールを自身の進路と結びつけるというよりは、楽しい体験型のイベントとして捉えているのではないだろうか。そのために、一人の中学生が多くの学校のイベントに参加していると考えられる。1回のオープンスクールで魅力を伝えていけるよう内容を検討しなおす必要がある。

冬休み受験集中講座

- ・ 昨年同様、1日開催に変更し、さらに内容も各教科分野別にし、中学生の選択制で実施した。参加者は約150名、昨年度は約270名。3科の先生方には負担をかけてしまったかもしれないが、中学生の評判は非常に良かったように思う。来年度も同じような方法で実施していきたい。

Keiai レター

- ・ 新型コロナウイルスの影響で、卒業生の進路報告バージョンのみ実施した。次年度は感染症対策を徹底したうえで在校生の撮影を実施していきたい。

私学展や相談会

- ・ 私学展は例年と違い3日間開催となった。例年は7~8人体制であったが、今年度は3人体制で大きな掛け声等も禁止されていた。
- ・ 私学展用のツール、夏服セーラーのミニチュア、こども教育や調理・製菓を象徴するアイコンなど、ポスターやチラシ以外で飾り付けをして、もっとアピールできようしていきたい。

その他

- ・ 広報活動を充実させるために、ホームページ係は入試広報部に所属し、昨年度より多く更新できたのではないかと思う。公式 Instagram、Twitter、You tube などを新たに作った。来年度はより更新できるようにしたい。

3 財務の概要

別添 令和2年度	資金収支計算書
	事業活動収支計算書
	貸借対照表
	財産目録
	監査報告書
	参照